

第3世代携帯電話端末で実現するユビキタス社会

Realizing the Ubiquitous Society with Third-Generation Mobile Phones

第3世代移動通信サービスは、IMT-2000 (International Mobile Telecommunications-2000) 標準に基づき2001年から開始されました。このサービスにおいては、今までの第2世代移動通信サービスと比較して、高速化、大容量化、及び高品質化が図られたことにより、従来の通信やEメールの機能だけでなく、動画や音声をダウンロードできるマルチメディアサービスや高速インターネットサービスを提供できるようになりました。現在でも電子マネー、ナビゲーション、国際ローミングの機能など更なる進化を遂げています。

一方、携帯電話端末においても大画面・高画質の表示デバイス、高解像度カメラの搭載、記録メディアとしてのSDカードの搭載、更にはBluetooth™^(注)などの近距離無線通信や地上デジタル放送受信の機能など、第3世代移動通信サービスに対応すべく進化を遂げてきました。

1989年に提唱された“欲しい情報がいつでもどこでも手に入る”というユビキタス社会は、この第3世代移動通信サービスの普及に伴って、ビジネスシーンやプライベートシーンでますます身近なものとなってきています。このようなユビキタスの時代、及び通信と放送が今まで以上に融合する時代では、携帯電話端末は高度ネットワークサービスにおいて、その中心的な役割を担うようになってきています。

これらの進化しつつある第3世代移動通信サービスに対して、東芝は、無線通信システム技術、マルチメディア技術、ソフトウェア技術を基幹技術ととらえ、積極的に開発を行い、ユーザーのニーズに合った商品を提供してきました。今後も、第4世代移動通信サービスを視野に入れた移動通信システム技術や、それに対応する最先端のキーデバイス開発に注力することにより、これからのユビキタス社会の実現に向けて、魅力ある携帯電話端末を継続的に供給していきます。



岡本 光正
OKAMOTO Kosei

(注) Bluetoothは、Bluetooth SIG, Inc.の商標。